届け 世界の果てまでも

令和５年１月１０日　No．５６　文責　校長　飯久保一男

新しい年もよろしくお願いいたします

小笠原小学校の子どもたちと，
子どもたちに関わる全ての方々にとって，
すばらしい年となりますようお祈り申し上げます。

通信タイトル“卯年新年初号バージョン”

３学期始業式での校長の話の概要です。

あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願いします。

…まず，感染症に対する対策（２学期同様に対策をしていくこと，各自でも対策をすること）を話しました。

３学期が始まりました。３学期は学年によって少し違うのですが，学校に来る日は，５０日ほどです。短い学期になりますので，これまで以上に１日を大切にして，全校の皆さんの，いろいろなカッコイー姿が見られる３学期にしてほしいと思います。

どの学年の人にもがんばってほしい３学期ですが，６年生と４・５年生にとっては，特に大切な学期になると思います。６年生は卒業に向けて小学校でのすべての生活のしめくくりの学期です。卒業への取り組みは始まっていると思いますが，卒業式がすばらしい最後の授業となるよう期待をしています。

４・５年生は，児童会選挙を終えて，学校の中心として取り組み始める学期になります。特に５年生は，６年生からバトンを引き継ぎ，最高学年となるための最後の準備期間になります。もちろん，１～３年生にとっても大切な学期です。全校の皆さんのカッコイー姿もたくさん見せてほしいと思っています。

今回も怪獣を紹介します。最初は出会ってほしくない怪獣です。**６年生の小泉萌々音さん**が考えてくれた**【聞いトラん】**という怪獣です。人の話を聞かない人が出会ってしまいます。３学期をカッコイー学期にするためには，先生や友達の話をよく聞くことから始まると思います。やる気・集中力をもって聞く３学期にしてほしいと思います。小笠原小の皆さんにはできると思います。なぜなら皆さんは，「あやめっ子タイム」に毎週取り組んでいて，「ニコニコ笑顔で」「うなずきながら聞く」ことができているからです。

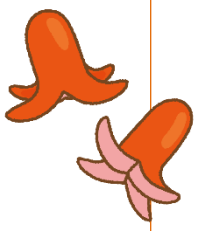
次は，出会ってほしい怪獣**【人にやさしし】**です。これは**１年生の深沢真桜さん**が考えてくれました。小笠原小学校の教育目標は「自分を大切にし，他者を大切にする子ども」を育てることです。他の人のことを大切にできる人は，人にやさしくできる人です。先ほどの**【聞いトラん】**のときにも話しましたが，人の話をよく聞くことも，人にやさしくすることの一つです。人にやさしくして，３学期にはこの怪獣にドンドン出会って，やさしさのあふれる小笠原小学校にしてほしいと思っています。

締めくくりの３学期が始まります。６年生は卒業・進学に向け，１～５年生は次の学年へ向けて，１日を大切にがんばるカッコイー３学期にしましょう。

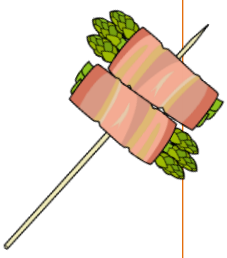
お弁当作ろうか？

母が数年前に他界した。
今は父と私の２人暮らし。
私も仕事をしているので，家事は父と分担してやっている。

父が明日，県外に１日出張だと言った。
私は，明日は休みだった。
「お父さん，私，明日は仕事が休みだから，お弁当作ろうか？
　それとも，外食したほうが楽？」
と聞いてみた。



父は，はじめ目が点になったような顔をしたんだけど，急に恥ずかしそうに
「外食なら，いつでもできるけど…，
　娘のお弁当は，いつまで食べられるかわからないからなぁ…。」
「昔，母さんが作ってくれた…，赤いウインナーのタコさんたのむ」（だんだん声が小さくなった）
「あっ，それから，アスパラをベーコンで巻いたやつも…」
「できたら，卵焼きとわかめご飯も…」
「デモ，父サンハ，何デモ食ベルゾ！」（最後はロボットみたいな言い方になった）



思わず，プッと吹き出して笑っちゃった。
でも，外食より私のお弁当を選んでくれたことが，とってもうれしかった。
明日は気合入れてお弁当を作るぞ！

私事で恐縮ですが，還暦（かんれき）を迎えました。干支（えと）は，６０年で一回りします。還暦とは，生まれた年の干支に戻ることで，元の暦（こよみ）に還（かえ）るという意味です。「今年の干支は？」と聞かれると「うさぎ！」と答えることがあると思いますが，正確にはそれは十二支（じゅうにし）で，干支とは十干（じっかん）と十二支を組み合わせた，その年の呼び名です。干支は十干の「干」と十二支の「支」を合わせた言葉です。

〇十干は　「甲（きのえ）・乙（きのと）・丙（ひのえ）・丁（ひのと）・戊（つちのえ）・己（つちのと）・庚（かのえ）・辛（かのと）・壬（みずのえ）・癸（みずのと）」の１０種類です。
〇十二支は「子（ね）・丑（うし）・寅（とら）・卯（う）・辰（たつ）・巳（み）・午（うま）・未（ひつじ）・申（さる）・酉（とり）・戌（いぬ）・亥（い）」の１２種類です。

これらを組み合わせて，十干の１０と十二支の１２の最小公倍数である６０年が干支の一回りです。令和５年の干支は「癸卯（みずのとう）」です。令和６年は「甲辰（きのえたつ）」令和７年は「乙巳（きのとみ）」令和８年は「丙午（ひのえうま）」となります。私は一回り前（６０年前）の癸卯の生まれです。今年は私が生まれてから５回目の卯年で，６０年ぶりの癸卯になります。

…干支の中でも「丙午（ひのえうま）」は有名です。丙午に火事が多く，江戸放火事件の「八百屋お七」が丙午生まれだったなどの逸話から「丙午生まれの女は気性が激しく，夫の命を縮める」という迷信があります。そのため丙午は極端に出生数が少ない年になっています。実は私の妹が丙午生まれです。小笠原小時代，私たちの学年は１００人以上の人数がいて，３クラスありましたが，妹たちの学年は６０人ほどの人数で，唯一の２クラス編制でした。妹の気性は＊＊＊ですが，来年還暦を迎える妹のダンナはいたって元気です。